

安全衛生取組事例シート

機関・団体・事業場名

社会福祉法人ほたか会

○移乗用リフトの活用による事故防止及び腰痛予防

移譲介助時に使用する移乗用リフトの使用率を上げるため、福祉用具販売会社を通じてメーカー担当者にご協力いただき、使用を定着させるための方法を模索し、スリングシートを二人介助対象者分導入した結果、次の効果が認められました。

- 1 スリングシートを個人用にすることで、ベルトの調節を固定できるため、**着装の手間を大幅に軽減**できること。
- 2 離床が短時間であれば、ベルトを着装したままで過ごしてもご利用者様に影響がなく過ごせるため、他のご利用者様の動向を気にせずに使用できること。
- 3 職員によって異なる体格や力量、技術を補うことで統一した介護を提供できること。また、2人介助で行っていた移乗介助が1人で行えるようになり、特に職員数の少ない朝においてもスムーズに対応できること。
- 4 移乗動作にかかる職員の身体への負荷がほぼないため、**腰痛を発症するリスクを軽減**できること。

以上のことから、ご利用者様、職員双方での安全を確保できることに繋がっています。

